

活力ある元気なまちへ 住民アンケート結果報告①

町では、第5次日野町総合計画の策定に向けた準備作業に取り組んでいます。今月号から、昨年11月に実施した住民意識調査(対象者2,514人:回答者1,266人、回収率50.4%)の結果を皆さんにお知らせしていきます。

今月号では、「住民と行政の協働のまちづくり」「住民が中心となることができること」のアンケート結果についてお知らせします。町では、すべての人がいきいきと暮らせる魅力あるまちづくりを進めるため、住民との協働を進め、住民の皆さんとともに第5次総合計画の策定を進めていきます。

Q. 住民と行政の協働のまちづくりを進めるうえで必要なことは…

進めるうえで必要なことは…

◆ 住民と行政の交流や意見交換の機会をつくる

◆ 住民が参加・参画する機会を増やす

◆ 情報の公開を充実する

アンケート結果では、住民と行政が協働のまちづくりを進めていくうえで、必要だと思うことについて、「住民と行政との交流や意見交換の機会をつくること」が46.5%で最も多く、次いで「まちづくりや計画づくりに住民が参加・参画する機会を増やすこと」が35.3%、「まちづくりに関する情報の公開を充実すること」が32.8%となっています。

今後まちづくりを進めていくうえで、住民と行政がお互いに意見を出し合い情報を共有するとともに、住民がまちづくりや計画づくりに参画できる機会を増やしていくことが望まれています。

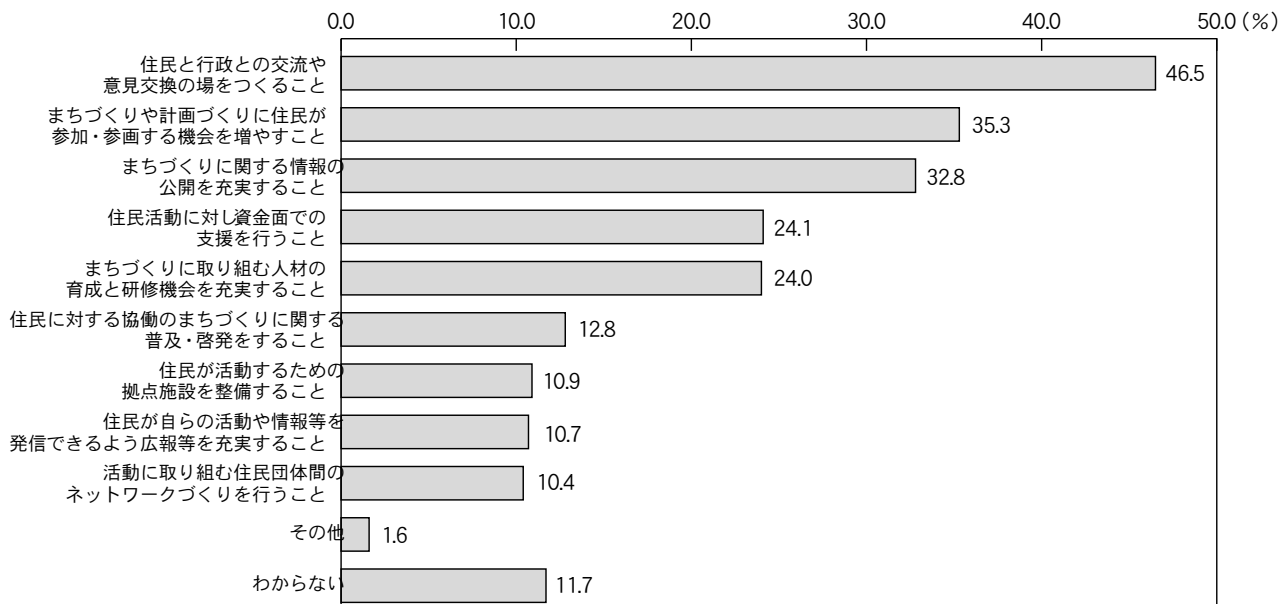
*「住民と行政の協働のまちづくり」

住民と行政がそれぞれの役割を果たし、ともに協力してまちづくりに取り組むこと。



協働のまちづくりに必要なこと

Q. 住民と行政が今後も協働のまちづくりを進めていくうえで、あなたが必要だと思うのはどのようなことですか。(3つ選択)

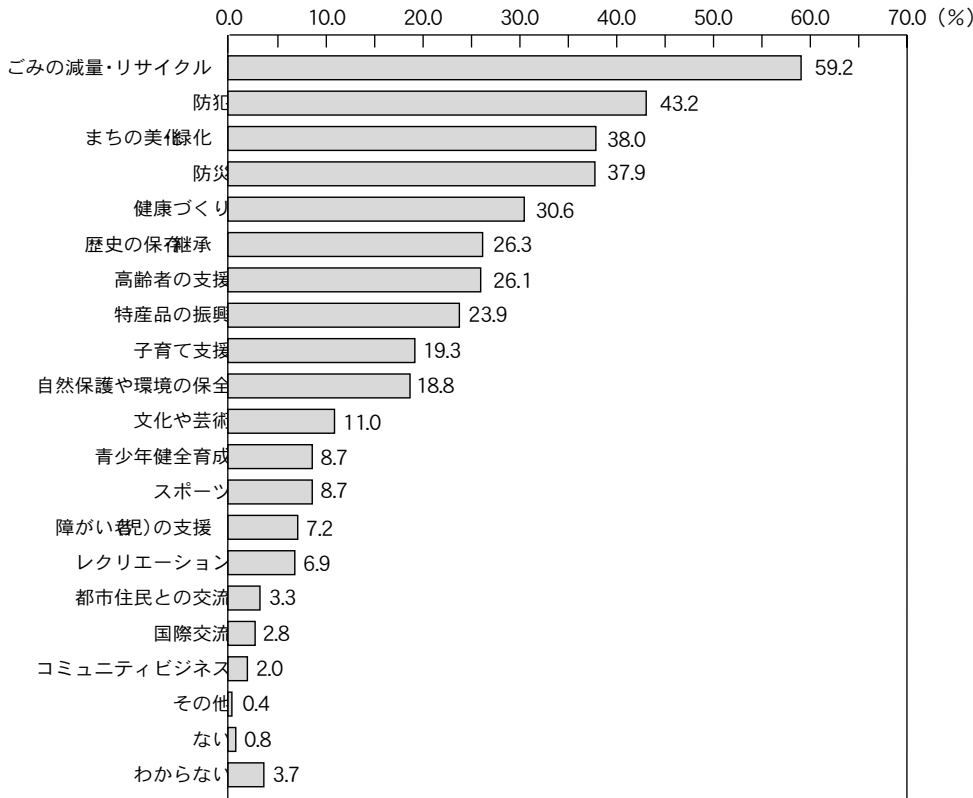


安心して暮らしつつづけられるまち

第5次日野町総合計画

住民が中心となることができること

Q.住民が中心となることができることは何だと思えますか。
(特に重要と思われるものを5つ選択)



Q.住民が中心になつてできることは…

「ごみの減量・リサイクル」や「防犯」

「まちの美化・緑化」や「防災」が上位。

「健康づくり」、「歴史の保存・継承」、

「高齢者の支援」、「特産品の振興」が続く

住民が中心となつてできることについては、「ごみの減量・リサイクル」が59.2%で最も多く、次いで「防犯」が43.2%、「まちの美化・緑化」が38.0%、「防災」が37.9%となっています。

また、「健康づくり」(30.6%)や「歴史の保存・継承」(26.3%)、「高齢者の支援」(26.1%)、「特産品の振興」(23.9%)も高くなつていきます。

これらの分野では、今後住民による自主的な活動が、活発になつていくことが予想され、活動に取り組みやすいような条件整備や側面的な支援が必要です。

総合計画策定に向けて

「これからまちづくりを

いっしょに話し合ひましょう

住民と行政の協働によるまちづくりをさらに進めるため、これからの日野町のまちづくりを町の職員といっしょに話し合ひたいと考えています。

町では、話し合ひをしていただける自治会や団体・グループを募集しています。

お申し込みは、自治会・団体・グループ(日野町内にお住まい、もしくはお勤めの方概ね10人以上)で、役場企画振興課へ電話・FAX・Eメールのいずれかの方法でお願いします。

【連絡先】 企画振興課 企画人権担当(役場3階)

☎ 65552

FAX 22043

Eメール kikaku@townshiga-hiro.jp

